

令和7年度 事業計画の要約

事業計画の概要

公益社団法人日本測量協会は、測量及び地理空間情報の分野における調査研究を行い、その普及発達を図り、併せて会員相互の親和と社会的地位の向上を期し、もって国土の利用、整備又は保全に寄与することを目的に諸施策に取り組んでまいります。

第1に、測量技術者の会員団体として測量技術及び地理空間情報に関連する諸問題の調査研究を積極的に進め、情報提供の場である月刊『測量』及びホームページの充実、各種出版物の刊行、測量・地理空間情報イノベーション大会の開催、G 空間 EXPO 運営協議会に積極的に参画するなど、測量及び地理空間情報技術の普及発達の向上に努めてまいります。

第2に、測量及び地理空間情報に関する専門技術者の教育研修については、日本測量協会の認定資格が国土地理院の測量技術者として登録されていること等に鑑み、空間情報総括監理技術者資格制度、地理空間情報専門技術認定制度の一層の充実を図るとともに、サーベਿਆカデミー等の講習会を積極的に推進し、測量及び地理空間情報の普及発達と専門技術者の育成、確保及び社会的地位の向上に努めてまいります。また、測量及び地理空間情報専門技術の継続教育の必要性から、測量系 CPD の一層の普及に努めてまいります。

第3に、測量業務の環境変化と顧客のニーズに的確に対応しつつ、測量機器の検定、測量成果の品質確保のための検定、測量・地理空間情報コンサルタント業務等に関する調査研究を推進してまいります。

1. 会員業務センター業務

活発な会員活動を通じて、測量技術者の地位の向上に寄与

- 月刊『測量』の発行による、測量界の最新情報の提供
- ウェブサイト「測量情報館」およびメールマガジンの更なる充実
- G 空間 EXPO2026 地理空間情報フォーラム 2026 の開催（ハイブリッド型）
日程(実地)：（予定）令和8年1月28日(水)～30日(金)3日間（オンライン）1月21日(水)～2月6日(金)
会場(実地)：（予定）東京ビッグサイト(東京国際展示場)
- 測量・地理空間情報イノベーション大会 2025 の開催（ハイブリッド型）
日程(実地)：（予定）6月17日(火)～18日(水)（オンライン）7月8日(火)～8月5日(火)
会場(実地)：（予定）東京大学伊藤国際学術研究センター（東京都文京区）
オンライン会場：（予定）関東支部を除く9支部会場
- 応用測量論文集第36巻発行及び第36回応用測量技術研究発表会の開催
- 測量・地理空間情報技術奨励賞の贈呈
- 刊行業務

- 令和7年度の図書刊行計画
- 「令和7年 測量士・測量士補国家試験問題模範解説集」・「測量士・測量士補国家試験科目別模範解答集（令和2年～令和6年）」
- 「受験テキスト vol. 26」・「測量関係法令集 令和7年版」・「設計業務等標準積算基準書・測量業務等積算資料 令和7年度版」
- 「作業規程の準則」・「作業規程の準則【解説と運用】」・「作業規程の準則【基準点測量記載要領】」

2. 測量継続教育センター業務

(1) 本部主催の各種講習会

- 1) 地理空間情報専門技術認定制度の充実
- 2) 空間情報総括監理技術者資格認定制度の充実
- 3) サーベਿਆカデミー 11コースを開催
- 4) その他の技術講習会
 - ① 測量士・測量士補受験対策講座の開催
 - ② 公共測量技術講習会 13コースを3地区で開催
 - ③ 測量・地図の基礎講座 10コースを開催

5) 測量作業機関を対象とする無料講習会

- ① イブニングセミナー 4回
- ② 地図と測量の公開講座 2回
- ③ 地理空間情報セミナー 全国16ヶ所（支部主催）
- ④ 実務者向けセミナー「三次元計測技術の活用」

（ビデオ講習会）全国13ヶ所計18回（支部主催）

- ⑤ 測量・地理空間情報技術者のための技術士取得支援セミナー（中核講座） 4回

6) 「スペシャリストの会」並びに「ジオメトリストの会」の支援

7) 「ソクジョの会」活動への取組

8) シニア技術者教育の推進

講習会等（本部受講予定者）

講習会等	受講予定者
測量・地図の基礎講座	270 名
実力養成講習会 測量士・士補通信添削講座	320
実力養成講習会 答案練習セミナー	40
公共測量技術講習会	345
サーベਿਆカデミー	280
イブニングセミナー	160
地図と測量の公開講座	60
測量・地理空間情報技術者のための技術士取得支援セミナー（中核講座）	160
東京大学工学部「空間情報学実習」（測量実習）	30
中央大学「空間情報学実習（仮称）」（測量実習）	30
読売理工医療福祉専門学校「測量実習」	未定

本部講習会合計 3,750 名 支部講習会合計 6,039 名 本部支部総合計 9,789 名

(3) CPD関係業務

- 1) 「測量 CPD」の普及・広報活動や CPD 登録者の増加に努める。
- 2) 「測量系 CPD 協議会」の事務局として当協会が中心的役割を担い、今後も協議会事務局として本制度の活用を測量計画（発注）機関に積極的に働きかける。

3. 測量技術センター業務

測量技術センターは、全国にネットワークを持つ地域性を最大限に活かしながら、業務の中核をなす測量機器・測量成果の検定業務について本部、支部が連携してよりの確にスピード感をもって取り組む。

コンサルタント業務は、各機関が定めている測量作業規程等の改定業務、新技術を活用した作業マニュアル作成等の受託に努める。

電子基準点リアルタイムデータ配信業務では、リアルタイムデータの利活用と普及の推進とともに、引き続きデータ配信に万全を期して対応する。

公共測量の測量計画機関（発注者）を対象とした「公共測量講習会」は、公共測量の理解、測量成果の品質確保の重要性（検定の促進）等を理解して頂くために本部及び支部で開催する。

(1) 測量機器の検定業務

GNSS測量機、トータルステーション、レベル、地上レーザスキャナ等の測量機器について、国土地理院「測量機器性能基準」及び「作業規程の準則」等に基づく検定を実施する。また、国土地理院「民間等電子基準点の性能基準及び登録要領」に基づく民間等電子基準点の性能検定を実施する。

(2) 測量成果品の検定業務

基本測量作業規程、公共測量作業規程等に的確に対応した測量成果検定を実施し、基準点及び数値地形図データ等の測量成果品の品質確保に寄与する。また、増加の傾向にある地上レーザスキャナやUAV搭載型レーザスキャナを用いた三次元点群測量等、新技術による測量成果検定にも対応する。

(3) 測量・地理空間情報コンサルタント業務

国、地方公共団体及び民間企業から調査業務の受託に努める。

(4) 電子基準点リアルタイムデータ配信業務等

位置情報サービス事業者に対し、安定した電子基準点リアルタイムデータ配信に努める。

(5) 調査・研究業務

事業拡大に必要な調査研究、地理空間情報の普及・活用に対する取り組みを進める。

(6) セールスプロモーションの強化

測量計画機関を対象として、測量成果の品質確保に関する「公共測量講習会」の開催、測量作業機関に対するセールスとサービスの取り組み、品質管理優秀賞の表彰の実施及び、測量機器検定・測量成果検定のユーザー会を開催する。また、測量計画機関及び測量作業機関からの技術相談に対応する。

(7) その他

建設技術審査証明事業、カメラキャリブレーションサービスを実施する。

4. 会務関係等

総会、理事会、監事監査、支部長懇談会、各種委員会、測量近代化研究会、講習会等会議室賃貸事業

5. 支部業務報告会及び行事等

業務報告会、役員会、「測量の日」関連行事など支部開催の行事

6. 関連団体との共同事業等

日本測量者連盟、日本測地学会、「測量の日」実行委員会、電子基準点を利用したリアルタイム測位推進協議会、復興測量支援連絡会、測量系 CPD 協議会、ジオメトリストの会、スペシャリストの会、地図展推進協議会との共同事業等を積極的に進める